

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価規準
1 学期	7	本はともだち	【主体】読書の良さがわかり、進んで本を読もうとする。
2 学期	10 ・ 11	れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかしてかこう。 「すがたをかえる大豆」 「食べ物のひみつを教えます」	【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。
			【知技】自分が調べたい「すがたをかえるもの」について、必要な情報をカードにまとめることができる。
			【思判】経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
			【主体】学習の見通しをもち、すすんで本を紹介し合おうとしている。
	11	登場人物の行動や気持ちをとらえて、えらんだ民話をしょうかいしよう。 「3年とうげ」	【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。
			【知技】自分がおすすめしたい本について、必要な情報をカードにまとめることができる。
			【思判】身近な生活と結び付けて、調べたいことをみつけることができる。
	12		【主体】学習の見通しをもち、すすんで本を紹介し合おうとしている。
3 学期	1	昔の道具について調べよう	【知技】幅広く昔の道具に関する本を読み、必要な情報を収集したり、記録を取ったりすることができる。
			【知技】昔の道具について調べたことについて、年代ごとにワークシートにまとめることができる。
			【思判】昔の道具について調べたことについて、道具の移り変わりやその特徴を比較したり分類したりして、ワークシートにまとめている。
	2		【主体】学習の見通しをもち、すすんで昔の道具について調べようとしている。